

消防団長紹介

交野市消防団 団長 鈴木 基也

交野市は大阪府の北東部に位置し、東西約5.4km、南北約6.8km、面積は25.55km²で大阪市、京都市及び奈良市までいずれもおおむね20kmの距離にあります。

昭和14年に交野村と磐船村が合併して交野町となり、昭和30年、町村合併促進法の施行で交野町と星田村が合併し、新しい交野町となりました。人口わずか1万人で素朴な農山村の面影を残していましたが、昭和45年10月1日には3万3701人を数え、都市的施設の充実に努めるため、昭和46年11月3日に市制を施行しました。以来交野は緑豊かな田園都市として、約8万人の人口をかかえるまちになりました。また、交野市には星にまつわる地名や伝説がたくさんあり、市の中心部には「天野川」が流れ、「天野川」にかかる橋は「逢合橋」と呼ばれており、織姫をまつる機物神社、彦星をまつっていた中山観音寺跡（枚方市）の中間点にあり、七夕の夜に二人が出会っていたという伝説もあります。

交野市の消防団においては、昭和46年の市制施行に伴い交野市消防団と改称し、現在定員222名、団本部及び第1方面隊（郡津・倉治）、第2方面隊（私部・森・寺）、第3方面隊（私市、星田）の3つの方面隊で構成され、火災現場での消火活動をはじめ、地震や風水害時の警戒巡視、避難誘導など各地域の安心安全を守る重要な役割を担っています。

私は、平成6年に入団以来、班長、副分団長を務め、平成14年4月に分団長、平成31年4月からは副団長を歴任し、令和3年4月から第13代団長に任命されました。

消防団活動で記憶に残っている出来事は、平成14年の分団長時代に管轄地域内で一般住宅が全焼する火災が発生しました。消防車両更新直後の火災発生であったため、各分団員が慣れない中での消火活動を強いられましたが、消防本部及び消防団が連携を図り、消火に至りました。そのような経験から、各機関の連携がいかに重要であるか、また、部下団員の育成がいかに重要であるかを学ぶこととなりました。団長となった今、複雑多様化する災害に対応できるよう消防団の強化に努めてまいります。